



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 8129 URL <http://www.tohohd.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 濱田 矩男  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 荻野 守 (TEL) 03-4330-3735  
四半期報告書提出予定日 平成24年11月14日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	556,184	3.1	7,252	76.4	8,640	42.6	5,145	52.9
24年3月期第2四半期	539,360	3.8	4,110	△18.8	6,059	△15.1	3,364	△8.9

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 5,456百万円(42.6%) 24年3月期第2四半期 3,826百万円(26.2%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	69	88	—	—
24年3月期第2四半期	43	42	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	528,037	23.9	126,216	23.9	—	—
24年3月期	536,440	22.7	121,594	22.7	—	—

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 126,216百万円 24年3月期 121,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	8 00	—	8 00	16 00	—
25年3月期	—	8 00	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	8 00	16 00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,140,000	2.9	15,700	11.6	18,400	3.8	10,400	△3.4	143	53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 — 社 ( — )、除外 — 社 ( — )
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	78,270,142株	24年3月期	78,270,142株
25年3月期2Q	4,911,228株	24年3月期	4,618,030株
25年3月期2Q	73,641,127株	24年3月期2Q	77,491,769株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
- 1株当たり予想当期純利益は、自己株式の取得を含めて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	12
(5) セグメント情報等 .....	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

医療用医薬品市場は、本年4月には診療報酬と薬価の改定があり、平均6.0%の薬価の引き下げ（長期収載品の引き下げを含めると平均6.25%）が行われました。

このような業界環境の中、当社グループにおいては、独自の顧客支援システムを競争優位として、医薬品の販売との「両立の戦略」を展開し、医療機関との関係強化を図るためのきめ細かい提案型営業を推進いたしました。また、未妥結・仮納入、総価取引・薬価差問題等の流通課題の改善に取り組みました。

このような状況において、当第2四半期連結累計期間の医療用医薬品市場は前年同期比2.6%（クレコリサーチ&コンサルティング株式会社推計）の伸長になりましたが、当社グループの業績は、売上高556,184百万円（前年同期比3.1%増）、営業利益7,252百万円（前年同期比76.4%増）、経常利益8,640百万円（前年同期比42.6%増）、四半期純利益5,145百万円（前年同期比52.9%増）となりました。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業では、新たなサービスメニューの開発等、継続した提案型営業を医療機関にご評価頂いたことと、市場の拡大が期待される新製品への取り組みを積極的に推進したことにより、当第2四半期連結累計期間の売上高は535,234百万円（前年同期比3.0%増）となりました。また、従来から実施しております製品個々の価値に応じた価格体系に基づいて適正利益を確保するための価格ロックシステムを厳格に運用し、フィービジネスの拡大や全社的な経費節減の取り組みにより、セグメント利益（営業利益）は5,583百万円（前年同期比214.6%増）となりました。

調剤薬局事業では、新規出店等による順調な拡大はありましたが、新規出店費用と薬剤師の採用による経費増により、当第2四半期連結累計期間の売上高は38,924百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益（営業利益）は1,747百万円（前年同期比13.8%減）となりました。

治験施設支援事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は169百万円（前年同期比55.2%増）、セグメント利益（営業利益）は60百万円となりました。

情報機器販売事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は659百万円（前年同期比1.7%増）、セグメント損失（営業損失）は12百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、390,574百万円となりました。これは、現金及び預金が3,758百万円、受取手形及び売掛金が9,243百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.7%増加し、137,462百万円となりました。これは、土地が2,182百万円、建設仮勘定が2,174百万円、投資有価証券が404百万円それぞれ増加し、のれんが799百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、528,037百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.5%減少し、369,320百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が5,479百万円、短期借入金が3,801百万円それぞれ減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10.0%減少し、32,501百万円となりました。これは、長期借入金が2,481百万円、負ののれんが459百万円それぞれ減少したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて3.1%減少し、401,821百万円となりました。

## (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、126,216百万円となりました。これは、利益剰余金が4,770百万円、自己株式が459百万円、その他有価証券評価差額金が310百万円それぞれ増加したこと等によります。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較し3,076百万円減少しました。その結果、当第2四半期連結累計期間末の資金残高は35,512百万円（前年同期比15,698百万円増加）となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は、8,654百万円（営業活動によるキャッシュ・フローが前年同期比14,581百万円増加）となりました。これは、資金増加要因として、税金等調整前四半期純利益9,022百万円を計上、減価償却費1,397百万円、のれん償却額1,203百万円、売上債権の減少額9,627百万円がありました。資金減少要因として、たな卸資産の増加額875百万円、仕入債務の減少額5,834百万円、未払消費税等の減少額1,881百万円、法人税等の支払額3,865百万円があったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、4,370百万円（投資活動によるキャッシュ・フローが前年同期比1,801百万円減少）となりました。これは、資金増加要因として、定期預金の預入・払戻による資金の純増加額781百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入1,451百万円、有形固定資産の売却による収入1,005百万円がありました。資金減少要因として、有形固定資産の取得による支出5,993百万円、無形固定資産の取得による支出311百万円、関係会社株式の取得による支出1,302百万円があったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、7,794百万円（財務活動によるキャッシュ・フローが前年同期比6,084百万円減少）となりました。これは、長期借入金の純減少額6,913百万円、自己株式の取得による支出459百万円、配当金の支払額589百万円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月9日発表の平成25年3月期通期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ5百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	43,244	39,486
受取手形及び売掛金	266,499	257,255
有価証券	1,087	512
商品及び製品	60,845	61,809
その他	31,618	32,131
貸倒引当金	△763	△621
流動資産合計	402,531	390,574
固定資産		
有形固定資産	61,999	66,233
無形固定資産		
のれん	14,658	13,858
その他	2,966	2,807
無形固定資産合計	17,624	16,666
投資その他の資産		
その他	56,333	56,594
貸倒引当金	△2,047	△2,031
投資その他の資産合計	54,285	54,563
固定資産合計	133,908	137,462
資産合計	536,440	528,037

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	346,414	340,935
短期借入金	15,735	11,933
1年内償還予定の社債	—	20
未払法人税等	3,745	4,001
賞与引当金	3,489	3,519
役員賞与引当金	91	54
返品調整引当金	291	305
その他	8,950	8,550
流動負債合計	378,718	369,320
固定負債		
社債	30	—
長期借入金	13,537	11,055
退職給付引当金	1,985	2,054
資産除去債務	729	741
負ののれん	2,097	1,637
その他	17,748	17,012
固定負債合計	36,127	32,501
負債合計	414,845	401,821
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	46,144	46,144
利益剰余金	67,536	72,306
自己株式	△4,036	△4,495
株主資本合計	120,293	124,604
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,602	5,912
土地再評価差額金	△4,301	△4,301
その他の包括利益累計額合計	1,300	1,611
純資産合計	121,594	126,216
負債純資産合計	536,440	528,037



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	539,360	556,184
売上原価	494,243	506,090
売上総利益	45,117	50,094
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	19,785	20,708
賞与引当金繰入額	3,408	3,507
役員賞与引当金繰入額	46	54
退職給付引当金繰入額	145	138
福利厚生費	3,457	3,762
車両費	757	775
貸倒引当金繰入額	△217	△138
減価償却費	1,310	1,397
のれん償却額	1,146	1,203
賃借料	3,560	3,544
租税公課	544	627
その他	7,061	7,261
販売費及び一般管理費合計	41,006	42,841
営業利益	4,110	7,252
営業外収益		
受取利息	78	69
受取配当金	602	561
受取手数料	1,384	1,423
負ののれん償却額	864	459
持分法による投資利益	6	27
その他	634	648
営業外収益合計	3,570	3,190
営業外費用		
支払利息	273	208
仮払消費税の未控除損失	1,226	1,344
その他	121	249
営業外費用合計	1,621	1,802
経常利益	6,059	8,640

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	47	158
段階取得に係る差益	252	—
投資有価証券償還益	—	258
災害見舞金	245	—
その他	225	112
特別利益合計	770	529
特別損失		
固定資産処分損	79	56
減損損失	194	—
投資有価証券評価損	23	61
関係会社株式評価損	228	—
その他	66	28
特別損失合計	593	147
税金等調整前四半期純利益	6,236	9,022
法人税、住民税及び事業税	2,056	4,220
法人税等調整額	815	△343
法人税等合計	2,871	3,877
少数株主損益調整前四半期純利益	3,364	5,145
四半期純利益	3,364	5,145

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,364	5,145
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	462	303
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	7
その他の包括利益合計	461	310
四半期包括利益	3,826	5,456
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,826	5,456
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,236	9,022
減価償却費	1,310	1,397
減損損失	194	—
のれん償却額	1,146	1,203
負ののれん償却額	△864	△459
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△807	38
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△52	13
賞与引当金の増減額(△は減少)	6	15
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△191	△37
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△471	△158
災害関連損失引当金の増減額(△は減少)	△177	—
受取利息及び受取配当金	△680	△631
支払利息	273	208
固定資産除売却損益(△は益)	32	△101
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	△94	25
投資有価証券償還損益(△は益)	—	△258
関係会社株式評価損	228	—
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	0	—
ゴルフ会員権評価損	0	5
売上債権の増減額(△は増加)	△4,444	9,627
たな卸資産の増減額(△は増加)	5,596	△875
その他の資産の増減額(△は増加)	△828	△398
仕入債務の増減額(△は減少)	△10,897	△5,834
その他の負債の増減額(△は減少)	749	35
未払消費税等の増減額(△は減少)	△719	△1,881
その他の損益(△は益)	△517	△319
小計	△4,973	10,635
利息及び配当金の受取額	696	639
利息の支払額	△270	△233
法人税等の支払額	△2,581	△3,865
その他	1,202	1,479
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,926	8,654

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△162	△410
定期預金の払戻による収入	311	1,192
有形固定資産の取得による支出	△1,148	△5,993
有形固定資産の売却による収入	254	1,005
無形固定資産の取得による支出	△349	△311
無形固定資産の売却による収入	3	2
投資有価証券の取得による支出	△54	△75
投資有価証券の売却及び償還による収入	123	1,451
関係会社株式の取得による支出	△1,260	△1,302
関係会社株式の売却による収入	41	—
資産除去債務の履行による支出	—	△3
貸付けによる支出	△547	△904
貸付金の回収による収入	222	1,091
その他	△3	△113
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,569	△4,370
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△227	630
長期借入れによる収入	4,928	1,077
長期借入金の返済による支出	△3,015	△7,990
社債の償還による支出	△48	△10
自己株式の取得による支出	△2,460	△459
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△290	△453
配当金の支払額	△595	△589
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,710	△7,794
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△32
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△10,205	△3,542
現金及び現金同等物の期首残高	29,111	38,588
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	118
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	907	347
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,813	35,512

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	502,466	36,285	109	498	539,360	—	539,360
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	17,404	8	—	149	17,562	△17,562	—
計	519,870	36,294	109	648	556,922	△17,562	539,360
セグメント利益又は損失(△)	1,774	2,026	364	△17	4,147	△36	4,110

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	516,586	38,914	169	514	556,184	—	556,184
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	18,647	9	—	144	18,802	△18,802	—
計	535,234	38,924	169	659	574,987	△18,802	556,184
セグメント利益又は損失(△)	5,583	1,747	60	△12	7,379	△127	7,252

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

該当事項はありません。